

R6 ル・ソラリオン西新井 事業計画書

1. 施設理念

- ・「主役はいつも利用者の皆様です」の考えを基本に利用者の人格及び意思を尊重し、今までの生活が継続できるよう支援をおこなう。
- ・地域、家庭との結びつきを大切にし、信頼される施設作りを目指す。

2. 施設方針・テーマ

- ・利用者に適切なケアを提供し、その人らしい生活が継続できるよう支援を行います。
- ・職員一人一人が、主役である利用者のニーズを理解し、気づきを大切にすることで、ケアの向上に取り組みます。
- ・地域に貢献し、身近な存在として愛され、信頼される施設づくりを目指します。
- ・認知症ケアの取り組みを強化します。

3. 実施事業

(1) 介護老人福祉施設	定員 160名（個室ユニット型）
(2) 短期入所生活介護	定員 20名（個室ユニット型）
(3) 認知症対応型通所介護	定員 12名/日
(4) 居宅介護支援事業	定員 35名

4. 重点目標

抱負・目標

①個別ケア、チームケアの充実

利用者個々のケアについて、職種間連携の元、最適なケアを提供します。

安心・安全で専門性の高い良質なサービスを提供します。

②人権に配慮した接遇により、地域において必要とされ地域に信頼される施設を目指します。

③働きがいのある施設、キャリアアップを目指せる施設づくりに取り組みます。

④感染症、災害時の事業継続

職員、利用者の感染防止に務め、拡大防止、サービスの継続が図れるよう対応します。

災害時における利用者、職員の安全確保、その後の事業継続の対応を行います。

（１）人財育成と職場定着

①広い視野を持った職員の育成、リーダーシップのある次代を担う職員の育成を行う。

②経験と職域による研修への参加を促進し、個々の職員のスキルアップを図る

③利用者個々にあわせた生活の提供のため、ユニットケアの充実・強化を図る職員の育成を行う。

（２）利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

①個別ケアの充実

・ユニットケアの充実（利用者一人一人に合わせた生活の提供）とあわせ、看取りケアの内容の充実を図る。

・リハビリ・栄養管理・口腔管理のいっそうの連携強化により質の向上を図り、より効果的な自立支援・重度化防止につなげる。

- ・喀痰吸引等研修の積極的受講により喀痰吸引のサービス提供が可能となる体制を作る。
 - ・Lifeによるフィードバックを活用する。
 - ・認知症の方のケアカンファレンス・評価・ケアの見直し等行い、安心して生活ができるよう体制をつくる。
- ②利用者の趣味・嗜好を反映したレクリエーションやクラブ活動を提供する。
- ③利用者サービスの向上
- ・ISO9001、外部評価 自己評価によりサービスの点検を図り、質の向上を図る。
 - ・不適切ケアの未然防止、虐待防止の取り組み、人権に配慮した接遇の研修を全職員に對して行う。

（３）リスク対策（感染・安全・災害）の充実

- ①医療機関との連携が強化されたことにより、利用者健康管理、医療、緊急時の対応、認知症行動重度者に対しての医療の充実を図る。
- ②感染症の職員・利用者の罹患を防ぎ、感染防止に努める。施設内発生時の蔓延防止、事業継続をするためBCPによる職員研修、訓練を行う。
- ③事故ヒヤリハット報告レベル３事故の発生に至る経緯の分析を行い、事故発生を１０件／年以内とする。（最終目標はあくまでゼロ件）
- ④水害、地震など地域防災計画に基づきBCPによる研修と訓練を行う。
職員の地域防災の意識を高め、施設機能を活用した災害支援に取り組む。

（４）施設・設備整備

- ①安心・安全で快適な施設内外の環境整備を行う
建物、設備、備品の保守管理を行い、経年に伴う整備と修繕に迅速に対応出来るよう取り組む。法令遵守し設備の保全に努める。
- ②感染症・災害発生時の事業継続に必要な整備を行っていく。
・感染症発生時の事業継続に必要な整備を行っていく。
・地震・水害など自然災害の事業継続に必要な整備を行っていく。
- ③ICT機器を活用した利用者支援、職員介護負担の軽減を図る。

（５）地域連携・社会貢献

- ①施設機能の活用（人的、物的）により、地域への社会貢献を行う。
- ②多世代間の交流として、保育所、学校、地域自治会、民生委員、地域包括支援センターと連携した取組を行う。
- ③看護実習、介護実習等、専門職養成のための施設機能の活用を図る。

（６）経営管理

- ①経営の安定（稼働目標の達成）
- | | | | |
|--------------|--------------|----------|-------------|
| 介護老人福祉施設 | 146 名（91.3%） | ショートステイ | 14 名（70.0%） |
| 認知症対応型デイサービス | 8 名（66.7%） | 居宅介護支援事業 | 20 名 |
- ②稼働率向上プロジェクトチーム、稼働率向上委員会の活動により稼働率の向上を目指す。
- ③各種加算取得の取り組み（看取り加算、排泄加算Ⅱなど）
- ④生産性向上の取り組みと業務改善の取り組みを行う。（生産性向上推進体制加算）
- ⑤各種補助金の活用を図る。